



さくらちょうしょう

桜町小だより

「緑と笑顔がいっぱい桜町小」

児童数 318名

令和8年7月号 令和8年7月17日発行



発見、挑戦、そして没頭の夏に！ ～好きを育み、得意を伸ばす～

～ 学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ 桜町小の子 ～



校長 齊藤 敦史

本日の終業式をもって68日間の充実した1学期が無事終わり、明日から夏休みを迎えます。さくらっ子一人ひとりにとって、この3か月半はいかがだったでしょうか。多くの思い出ができた1学期を振り返り、明日からの夏休みに繋げてほしいと思います。

今年の夏季休業(夏休み)は、7月18日から8月31日までの45日間です(最終週にはサマースクールがあります)。最近の天候からも、今夏は一段と暑くなりそうです。くれぐれも健康第一、毎日を元気に過ごしてほしいと願っております。

さて先日、二十年ほど前に私が担任した教え子達と会い、懐かしさと嬉しさと胸がいっぱいになる機会がありました。当時の思い出話に花が咲く中、子どもたち(もう立派な大人でしたが、私の中では当時の面影が残るいつになっても「教え子」でした)の現在の職業を尋ねる場面がありました。公務員やプロ選手、教師や芸術家や個人事業主等々、様々な職に就き、第一線で活躍していると伺い、さらに嬉しさが倍増したところでした。その中で数名が「小学生の時、夏休みに没頭した自由研究が楽しかったから」や「中学時代、夏の合宿で良い成績を収め、プロ選手になろうと覚悟を決めた」など、長期休業中に取り組んだことが、意外にもその後の将来や人生を方向づけた人がいることも判明しました。

実は、文部科学省が目指している「これからの学校教育」にも、『好きを育み、得意を伸ばす』というキャッチフレーズがあります。普段は毎日学校に通い、全員で同じ教科の学習をしたり、生活を送ったりするなど、他人との差がつきにくい環境にあるものの、夏休み期間であれば、ある程度の自由な時間を確保できます。さくらっ子の皆さんには、ぜひ、今年の夏休みは、何か好きな事を見つけ、全力で取り組み、**新たな発見**をしたり、時間をかけてのめり込んだりしてみてほしいと思います。今までやったことのない、或いはできなかったことに**挑戦**したり、または、ずっとやりたかったことに集中する、いや、**没頭**してみる等、45日間という貴重な長い休みを有効に活用してほしいと思います。将来に繋がる契機となるかもしれません。

一方、夏休み期間は大変長く、その間、生活リズムの乱れや睡眠不足による体調不良、友人関係等による不安や悩みを抱えることがあるかもしれません。ご家庭で、お子様の様子をよく観察していただき、何かいつもと違うと感じたり、少しでも不安な表情・様子などSOSが見られましたら、できる限りお子様に寄り添い、話を聴いてあげてください。併せて、心配な様子が見られましたら、遠慮なく学校にご相談ください。

結びに、1学期にお寄せいただきました皆様のご厚情に深く感謝申し上げますとともに、夏休みも「**学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ さくらっ子**」を共有していただき、これからも、本校教育活動へのご理解・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。これまでお寄せいただいたご協力、誠にありがとうございました。